

# ふかうら

No.85

3 2026年  
月定例会

令和8年6月12日発行

## 議会だより

この町で挑む

トマト栽培に取り組む

木村寿志さん (追良瀬)

ふるさとで挑戦

草食系

生涯学習センター整備費 令和8年度予算決まる ▶ 2

新年度予算審査！ ここをチェック ▶ 3

わが町のここが聞きたい！ 一般質問 6人が質す ▶ 10

深浦町議会チャンネル

検索



ホームページ: <https://www.town.fukaura.lg.jp/category/bunya/gikai/>

# 当初予算審査!

令和8年度歳入歳出予算・  
令和7年度補正予算などを審議

ここを  
チェック

## 予算に関する特別委員会



副委員長  
八木 史



委員長  
岩根 環

予算に関する特別委員会は委員長に岩根環議員、副委員長に八木史議員が選任され3月9日から11日までの3日間にわたって、付託された議案第1号令和8年度深浦町一般会計予算(案)から報告第1号専決処分した事項の報告及びその承認を求める件(令和7年度深浦町一般会計補正予算(第7号))までの議案27件、諮問2件、報告1件、合わせて30件について審査しました。

審議の過程では、各般にわたって十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。

**問 齊藤委員**  
地域イベント開催事業のうち、深浦イルミネーション190万円に大イチョウのライトアップ事業は含まれているのか。

**答 鶴田財政課長**  
旧トント園は、沢辺地区の旧施設で、かつて縫製会社やグループホームとして利用されていたが、平成23年以降は未使用となっている。老朽化が進み、周辺に民家もあることから、安全確保のため解体を行う。



▲旧トント園

**問 齊藤委員**  
旧トント園の解体工事の内容は。



**答 神林観光課長**  
大イチョウのライトアップ費用は地域イベント開催事業費に含まれている。項目としては分かれていないが、照明設置の委託料や備品購入費、器具借上料などに計上されている。

**問 今委員**  
【海岸漂着物】  
県からの補助は

**答 熊谷町民課長**  
大規模災害時の漂着物については、県が一元管理する方針が示されたものの、具体的な内容は未定であり、現時点でも詳細な情報は示されていない。



▲打ち寄せられた海岸漂着物

## 質疑応答

町民の声を背に課題に向き合う。



令和8年度 予算  
注目事業

予算の詳細は  
広報ふかうら4月号

議会が目している事業を  
紹介します。

当初予算の概要 当初予算の主な事業

1207万円

保育園留学事業

780万円

子育て応援入学祝金事業

675万円

地域農業政策事業

800万円

住環境リフォーム推進事業

10億5475万円

生涯学習センター整備事業

**問 今委員**  
増殖事業チャレンジ補助金について、772万5千円という予算規模で、どの程度思い切った取組が可能と考えているのか。

**答 山本農水課長**  
増養殖のチャレンジ事業は、天然魚の減少を受け、漁業者の養殖への取組を支援するため新設した。段階的に「ホップ・ステップ・ジャンプ」として、試験段階は上限50万円、次段階は100万円を補助し、最終的には国の補助事業になげることが想定している。町として小規模段階から後押ししていく考えである。

**【斎苑火葬炉修繕】劣化の進み具合は**

**問 工藤委員**  
火葬炉の改修について、4基のうち何基を補修するのか。また、利用増に伴う劣化の進み具合をどのように捉えているのか。



**答 熊谷町民課長**  
火葬炉の修繕は業者と協議

し、年次計画に基づき実施している。令和8年度は1号炉の主燃炉レンガ全面積替えや、2号炉の台車ブロック打替え、天井補修などを行う。傷みが進んでいるため、毎年点検しながら計画的に修繕している。



**問 工藤委員**  
住環境リフォームについて、概要を見ると、前回交付から10年以上経過した方も対象となり、また下水道工事にも活用できることであるが、本制度は町内全域で利用可能なのか、それとも地域限定なのか。

**答 堀内建設水道課長**  
このリフォーム事業については、全町で利用可能であるとの考えである。また、前回リフォーム制度を活用した場合でも、一定期間（平成25〜27年度に実施した方など）を経過していれば、10年を超えた段階で再度活用できる仕組みとしている。

**【大館ハウス】収入や単収、また、離農の原因は**



**問 藤田委員**  
大館ハウスの空きがある状況を踏まえ、トマト農家の経営実態について、1戸当たりの収入や単収、4キログラムの平均単価はどの程度か。また、離農の原因は？

**答 山本農水課長**  
確定的な数値は示しにくいものの、大館地区のハウス（285㎡）については、4棟運営している農家の場合、年間収入はおおむね400万〜800万円程度と幅があり、500万円前後の例も見られる。個人の収入に関わるため詳細は控えるが、同じ4棟規模でも収入差がある状況である。また、価格は現在1kgあたり約350円で推移しており、物価高騰や他産地の不作など市場要因の影響を受けつつ、ここ数年は上昇傾向にある。なお、単収については後ほど説明する予定である。大館のハウスで離農が増える

ている主な理由は、近年は高齢化によるものである。今回20棟が空くのも、そのうち2人が高齢を理由に離農するためである。一方で、現在残っている農家は比較的若く、50代前後から30代までの層が中心となっている。さらに、今年度（令和8年度）も新たに参入予定の30代の担い手がいることから、当面は維持できる見込みである。



▲大館トマトハウス

**【町長車更新】車種、財源は**



**問 岩谷委員**  
財産管理費に公用車の購入が計上されているが、その車種は何か。また、財源は、どのような制度に基づく起債であるか。

**答 鶴田財政課長**  
公用車は町長車の更新で、車種は未定である。財源には脱炭素化推進事業債を活用し、制度改正によりハイブリッド車も対象となる。なお、元利償還金の30%は交付税措置が見込まれている。



**問 岩谷委員**  
経営所得安定対策補助金に一般財源を充当することだが、この判断は町全体の方針として決定したのか、それとも担当課の判断によるものか。

**答 鶴田財政課長**  
農林水産課から町長まで協議の上、町として一般財源で対応する判断をしたものである。一般財源は主に町税であり、町の総意として措置した。

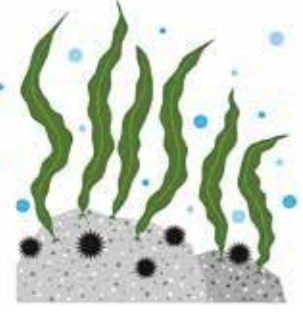
**答 平沢町長**  
公金を使用する以上、責任は重いと認識している。現在は、事業の整理や職員の処分について検討しており、結果がまとまり次第、改めて説明する。

**問 岩谷委員**  
海上花火大会は近年、深浦地区のみで開催されているが、町内3地区の公平性の観点から、岩崎地区や北金ヶ沢地区などでの持ち回り開催は検討できないか。

**答 神林観光課長**  
大戸瀬地区や岩崎地区でもそれぞれイベントを実施しており、全体としてバランスを取っている。持ち回り開催については、今後関係者と検討しよう。

**問 岩谷委員**  
王池で展望デッキの整備に加え、町が貸しボートを整備し、管理運営を委託する形で再開する考えはあるか。

**答 神林観光課長**  
貸しボートの運営は、人員不足のため現状では困難であ



る。一方で、カヤックなどイベント的な活用は可能と考えているが、常設での運営は難しい状況である。

**【栽培漁業振興対策】調査の結果は**



**問 大川委員**  
ウニ種苗放流1万個について、昨年度実施した調査の結果は。

**答 山本農水課長**  
ウニ減少の要因として海水温上昇が考えられるため、水深15〜30メートルで潜水調査を実施した。その結果、15〜20メートル付近は海藻や水温の面で生息環境が良好と確認された。今後は適した海域に集中的に放流し、自然増殖の可能性を検証していく。

**【橋梁補修】予算内ですべて完了するのか**



**答 福沢委員**  
橋梁補修設計業務委託料800万円について。町で管理している橋梁は約70か所程度であると認識しているが、そのうち何橋分の設計業務に該当するのか。また、この額で当該年度分の設計委託がすべて完了するものなのか。

**答 堀内建設水道課長**  
本事業は、道路点検の結果を踏まえて策定された計画に基づき実施されるものであり、トンネルや橋梁を対象に計画的に対応するものである。今回の800万円については1橋分の設計業務に係るものであり、長慶平1号線にある複数橋梁のうち、優先度の高い1橋を対象としている。当該箇所にはPCB（ポリ塩化ビフェニル）を含む部材が使用されている可能性があること、早急な対応が必要であることから、最も手前に位置する望月橋に関わる橋梁を対象として補修設計を行うもので

**【障害者雇用】検討を求める**



**問 七戸委員**  
障害者雇用については応募がないとのことだが、実際には応募事例もあるため、採用の可能性を広げるよう検討を求める。

**答 松沢総務課長**  
そのように対応したい。



**問 七戸委員**  
風力発電による増収分や基金について、積立するだけでなく活用し、ウニやナマコの増殖など漁業振興に充てるべきではないか。また、適地を見極めた上で放流・設置を行うなど、具体的な取組を進める考えはあるか。

**答 佐藤副町長**  
風力関係の寄附金は既に他事業に配分済みで、新たに積み増す考えはない。財政面では起債や基金繰入が増えており、持続的運営のため既存事業の見直しが必要と認識している。

また、十二湖の活用は、町がハード整備を担い、運営は民間主体で行う方針であり、意欲ある事業者の参画を期待している。

# 深浦町議会 第143回定例会

第143回定例会は、3月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。  
 本定例会では、令和8年度当初予算関係議案8件、令和7年度補正予算関係議案6件、条例関係議案7件、その他議案1件、工事請負契約関係議案2件、深浦町固定資産評価審査委員会委員の選任の件3件、人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問2件、報告1件、合わせて30件を審議しました。  
 また、一般質問には、6人の議員が登壇しました。  
 令和8年度一般会計当初予算は、前年度比5億1900万円、6.6パーセント増の歳入歳出総額それぞれ83億5800万円となりました。

**3/6 (金)** ・全議案一括上程  
 ・提案理由の説明

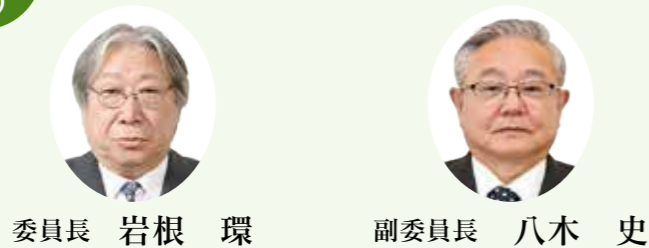


**3/7 (土) ~ 3/8 (日)** ・休会

**3/9 (月)** ・一般質問



**3/9 (月) ~ 3/11 (水)** ・予算に関する特別委員会



**3/12 (木)** ・休会

**3/13 (金)** ・議案審議、採決



## 【障害者雇用率】 達成状況は



**問 八木委員**  
 障害者雇用の法定雇用率は2・8パーセントとされているが、当町における達成状況は。

**答 松沢総務課長**

現在の障害者雇用率は2・0パーセントであり、法定雇用率2・8パーセントを下回っている。算定は職員228人に対し4・5人分で、障害の程度による調整や勤務時間の違いにより人数に小数点が生じている。



## 八木委員

**問 八木委員**  
 庁舎の外壁改修は、なぜ7・8年度の2か年で実施するのか。一括で1年施工としなかった理由は何か。あわせて、岩崎支所も外壁改修で足場設置が繰り返されているが、1回で完了できなかった理由は何か。

**答 鶴田財政課長**

庁舎の外壁改修は、内側と海側で工事を分け、財政負担や工期の都合から2か年で実施している。

岩崎支所については、本来は一括施工が効率的であったが対応できず、今回の改修で必要な工事は一通り完了する見込みである。

## 八木委員

**問 八木委員**  
 保育園留学事業費1200万円の新規事業について、導入に至った経緯は。

**答 平沢町長**

社会福祉法人の理事長時代に事業導入を提案し、その後町長就任後に担当課と協議を進め、現在実施に向けて取り組んでいる。

## 八木委員

**問 八木委員**  
 林業活性化事業について、外部人材の活用により3年間で事業化・収益化を進め、林業で生計が成り立つモデルを示し、移住・定住の促進につなげる考えはあるか。また、関連事業者100人、移住・定住者10人規模の目標設定をどう考えるか。

**答 山本農水課長**

これまで整備中心だった森林は活用期に入っており、後世への継承を見据え、専門家の知見を活用して林業活性化に取り組んでいく。

## 八木委員

**問 八木委員**  
 消防施設等維持管理費の中に女性職員専用設備整備工事3000万円、事業費全体で3700万円が計上されているが、女性職員の採用・定着や適切な就業環境の確保を目的とするこのことである。なぜ今このタイミングで整備を行うこととしたのか。

**答 松沢総務課長**

総務省消防庁から、令和8年度末までに女性消防職員の

## 八木委員

割合を5パーセントとするよう努力する旨の通知があった。これを受け、現在深浦消防署に女性職員が1名在籍していることから、今後の増員も見据え、就業環境の整備として施設整備を行うこととしたものである。

## 八木委員

**問 八木委員**  
 令和8年度の医師の体制は。

**答 竹内診療所長**

吉岡所長のもと、県派遣医師の継続配置を含め、松山陽亮医師、松山美智子医師の常勤医3名体制に加え、非常勤医1名を含む計4名でスタートする。

さらに応援医師として、弘前大学医学部附属病院の嘱託医である平野医師、青森県立病院の医師（代診、月4回）、鰐ヶ沢からの副院長（代診、月1回）が診療を支援する予定である。

また、十和田市立中央病院から総合診療プログラムの専門研修生を4月から9月までの6か月間受け入れ、吉岡所長の指導のもとで研修を行う体制となる。





つばやき  
町民に分かりやすい  
行政事務を望む

### 建物登記周知

**問** 建物登記の周知するなど柔軟な対応を

**答** 登記制度の周知強化

いわや 岩谷 つかさ 司 議員



質問者の動画が  
視聴できます。

**問** 岩谷議員  
①近年の災害発生状況や活動実態を踏まえ、改定後の出勤報酬額は妥当と考えているのか。また、その算定根拠と町の基本的な考え方は。②出勤報酬に係る活動時間の起算点・終点や計測・確認方法はどのように整理されているのか。また、支給手

**消防団報酬の考え方は『国の基準を根拠に設定』**

**答** 町長  
家屋評価時や滅失届の際の対面機会を活用し、所有者に登記手続きの必要性を丁寧に情報提供することも、広報等を通じて周知を図っていく。

**問** 岩谷議員  
家屋の新築・増築や解体時において、登記申請が所有者の責任であることを踏まえ、町への届出の際に法務局への登記手続きの必要性を周知するなど、柔軟な対応を行う考えは。

続きは関係法令や町財務規則に基づき適正に運用されているのか。

**答** 町長  
①消防団員の報酬は国の基準を根拠に見直し、年額報酬を14000円から36500円に増額するとともに、出勤報酬を1回4000円から活動時間に応じて日額2000円〜8000円へ改定した。近隣自治体との均衡も踏まえ、妥当な額と考えている。

②活動時間は、現場へ出発した時点から、作業終了後に資機材の整理等を終えて解散した時点までとしている。確認は分団の出勤明細と消防署の出勤記録を照合して行い、支給手続は条例に基づき適正に処理している。

**問** 岩谷議員  
①令和7年5月17日に発生した関字小島崎の廃棄物焼却事業において、出勤要請がなされた第11分団、第12分団、第16分団及び第17分団に対し、本件の出勤報酬は支給されたのか。②本事案のように法令違反行為に起因して消防団が出動した場合、経費負担や求償の考え方について町としてどのように整理しているのか。

**答** 町長  
①関字小島崎の廃棄物焼却事業における消防団の出動報酬は支給している。②消防団は市町村の行政機関であり、その費用は消防組織法により市町村が負担することとされているため、

**消防団員出勤報酬  
廃棄物焼却事業への  
消防団出勤と報酬の  
扱いは**

『出勤報酬は支給、  
※求償不可』

出火原因が法令違反行為であっても、出勤経費を原因者に負担させたり求償したりする法的根拠はないと整理している。

※求償…本来損害を負担すべき人に、代わりに弁済した者がその費用や損害の賠償を求めること。

# わが町のここが聞きたい

第143回定例会

## 一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

建物登記の周知するなど柔軟な対応を

岩谷 司 議員



白神岳登山ロアアクセス道路の整備は

七戸 仁 議員



地域資源を生かした持続可能なまちづくりは

今 勝吉 議員



町長初予算 重点施策は

岩根 環 議員



十二湖エリアの景観整備と安全対策は

大高恒藏 議員



「ゆとり」代替施設の整備は

八木 史 議員



編集の都合により、掲載は実際の質問順とは異なりますのでご了承願います。



つぶやき  
地域特性を生かして  
価値を生み出す

## 地域資源活用 地域資源を活かした 持続可能なまちづくりは

問 答  
問 答  
答 販路拡大と起業支援を推進

こん 今  
かつよし 勝吉 議員



質問者の動画が  
視聴できます。

人口減少対策  
少子化対策及び  
婚活支援の推進は  
『若者定着と子育て  
支援を強化し婚活  
機会の拡大を図る』

問 町長  
地域資源を活かした商品開  
発や販路拡大に向け、各種補  
助制度により事業者を支援し、  
商談会参加などで一定の成果  
が出ている。今後も外部連携  
や情報交換を重視し、商工会  
等と連携して販路拡大や起業  
支援を進める。

問 今議員  
町民のよりよい暮らしの実  
現に向け、地域経済や産業の  
活性化が求められている。地  
域資源を活かした取組につい  
て伺う。  
①農水産物や山菜の商品化や  
物産展等による販路拡大な  
ど、地域ブランド向上の取  
組は。  
②外部人材や担い手と連携し  
た、高付加価値化とブラン  
ド強化の戦略は。

答 町長  
①当町は出生減と転出超過で  
人口減少が進み、合計特殊  
出生率も低水準で推移。2  
040年に3786人まで  
減少見込みで、「若者定着」  
を最優先に対策強化が必要。  
②県の「青森モデル」と連携  
し、給食費・保育料・不妊  
治療費の無償化を基盤に、  
通学支援や副食費無償化、  
入学卒業祝い金などで子育て  
負担の軽減を図る。  
③婚活支援は登録料全額補助  
を実施するも登録者は少な  
く成婚実績なし。今後は才

問 今議員  
人口減少対策には県との連  
携強化と町独自の取組が重要  
であることから、次の点を伺  
う。  
①人口推移や出生数、合計特  
殊出生率の現状と将来見通  
しをどう分析し、施策に反  
映するのか。  
②県の「青森モデル」など子  
育て支援と町の少子化対策  
をどう連携させるのか。  
③交付金を活用した婚活支援  
の現状と成果、今後の推進  
は。

問 今議員  
当町は森林が大半を占め、  
ナラ枯れは景観やインフラへ  
の影響が懸念される。被害状  
況の把握と分析を踏まえ、拡  
大防止とインフラ保全に向け  
た今後の対策を問う。  
答 町長  
ナラ枯れ被害は町内で大き  
く拡大しており、県の方針転  
換により今後は全量駆除が困  
難となる。町としては広範な  
防除は難しいため、人命やイ  
ンフラへの影響がある箇所に  
重点を置いて対応し、関係機  
関と連携しながら安全確保を  
図る。

ナラ枯れ対策  
ナラ枯れ被害の現状  
と今後の対策は  
『被害拡大受け安全  
確保を図る』  
オンライン相談やAIマッチ  
ングの向上、近隣市町村連  
携で機会拡大を図る。

## 白神登山口道路整備 白神岳登山口 アクセス道路の整備は

問 答  
問 答  
答 登山口路線は狭く拡幅整備予定

しちのへ 七戸  
ひとし 仁 議員



質問者の動画が  
視聴できます。

つぶやき  
深浦町の背後は  
全て白神山地の  
核心地域



▲白神岳登山口へ至る道路

問 町長  
対象路線は農道日野線と林  
道日野線であり、道路幅員が  
狭く車両の離合が困難な状  
況であることから、対策の必  
要性は認識している。一方で  
県が進める林道黒崎大間越線

問 七戸議員  
白神岳登山口駐車場へ至る  
路線は幅員が狭く、車両の離  
合が困難な状況にある。登山  
者の誘致を進める上でも安全  
性と利便性の向上が必要と考  
えるが、アクセス道路の拡幅  
整備について町の考えは。

問 七戸議員  
世界自然遺産・白神山地を  
擁する当町にとって、「白  
神」は国内外に強い訴求力を  
持つ地域ブランドである。名  
称の前面に「白神」を冠する  
ことで、所在地の明確化や情  
報発信力、探索性の向上、観  
光誘導効果の拡大が期待でき  
ると考えるが、町長の考えは。  
①アオーネ白神十二湖を「白  
神アオーネ十二湖」への改  
名は。  
②十二湖駅を「白神十二湖  
駅」への改名は。  
③ウエスパ椿山駅を「白神ウ  
エスパ椿山駅」への改名は。

『現在の名称維持し  
改名不要と判断』  
「白神」名称の活用  
「白神」を冠した施  
設・駅名への改名を  
整備により、既存路線と接続  
しながら拡幅等が段階的に進  
められる計画であり、令和11  
年度の完成、令和12年度供用  
開始の予定である。



▲十二湖駅

※離合…車両同士が狭い道路ですれ違うこと。

問 町長  
「白神」の名称は高い訴求  
力を持つが、現状では「白神  
山地」といえば「青池」「十  
二湖」が強く結び付いており、  
当町の優位性となっている。  
このため「アオーネ白神十二  
湖」の名称変更の必要性は低  
いと判断している。JR駅名  
の変更についても同様であり、  
手続きや多額の費用負担が伴  
うことから慎重に考える必要  
がある。今後は「白神」と  
「青池・十二湖」の双方の価  
値を活かしながら情報発信に  
取り組む。



▲旧深浦校舎グラウンド

**問 岩根議員**  
グラウンド一般開放後の利用状況は。また、町外への周知やイベント活用、遊具整備、高齢者向けスポーツやドッグラン、多目的交流、冬季イベントなど多様な活用の考えは。

**旧深浦校舎  
グラウンドの活用は  
『運動場の利活用を  
推進』**



**答 町長**  
グラウンドは主に陸上競技で活用され、野球利用は少ない。ペット利用は不可で、冬季イベントは天候により会場変更となった。今後はイベント等の活用を検討する。なお、遊具は屋内施設に整備するため、グラウンドへの設置は行わない方針である。



▲深浦本町地区を運行するコミュニティバス

**問 岩根議員**  
高齢者等の移動手段の確保維持を目的としたコミュニティバスについて  
①路線別の利用状況と利用推移は。  
②冬季の通行環境に関する相談の有無は。  
③乗降場所の柔軟な対応の可否は。

**コミュニティバス  
の  
利便性向上は  
『安全を確保し柔軟  
に対応』**

**答 町長**  
①令和5年度以降のコミュニティバス利用は、各路線とも概ね増加傾向にあり、特に岩崎線の利用が多い。全体では令和5年度1358人から令和7年度は約16310人の見込みで、累計は約44700人となる。  
②バス停までの通行に関する相談は寄せられていないが、大雪による寄せ雪の影響が考えられる。危険な場合は町へ相談するよう求める。  
③フリー区間は設けていないが、安全運行に支障がなければ季節を問わず柔軟に乗り降対応している。

スマートフォンなどで手軽に一般質問などの録画映像がご覧になれます！

議会だより内に掲載しておりますQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問や町長の提案理由の説明、採決の様子の動画が視聴できます。ぜひ、ご視聴ください。  
ただし、QRコードを読み取るためにはアプリが必要です。インストールされていない場合は、インストール後にご利用ください。  
※QRコードとは、今やいたる所で見かけるようになった四角い白黒の点で構成されたマークで、読み取れば簡単にいろんな情報を知ることができます。

**議会録画配信**  
YouTube（ユーチューブ）で録画配信を行っております。



YouTube  
「深浦町議会  
チャンネル」

問 町長初予算 重点施策は

答 8つの挑戦で町づくり推進

つばやき  
町民のため、公約実現に期待!!



いわね 岩根  
たまき 環 議員



※写真はイメージです。

**問 岩根議員**  
令和8年度当初予算において町長が重点を置いた施策は何か、またその施策に込めた考えと町政運営の方向性は。

**答 町長**  
公約の8つの挑戦を踏まえ、子育て支援、移住・定住促進、産業振興、生涯学習拠点整備などを重点施策として編成した。新たな取組と既存施策を組み合わせ、「誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う、活気と希望があふれる深浦町」の実現を目指す。



**問 岩根議員**  
広戸地区の旧木造高校深浦校舎跡地の教室解体跡地周辺への小規模入浴施設整備の考えと、新たな温泉整備に伴うボーリング調査の実施についての検討は。

**答 町長**  
温泉施設整備の実現性調査を行い、規模別の整備費や運営費を踏まえて判断する。なお、旧校舎跡地は用途制限により温泉施設の整備はできない。

**入浴施設整備  
状況は  
『温泉施設整備の  
可否判断』**



つばやき  
いよいよ本番だ。  
おらだちもみんなの  
笑顔を見るため  
ガンバルぞう。



つねぞう  
恒藏 議員

おおたか  
大高

# 問 十二湖エリアの環境整備 十二湖エリアの 景観整備と安全対策は

## 答 展望所整備困難とし安全対策強化 方針



質問者の動画が  
視聴できます。

**問 大高議員**  
日本キャニオンの魅力向上と眺望場所の整備の考えは。また、十二湖エリアの災害復旧や周辺景勝地の対応は。

① 日本キャニオンを望む既存スポットへの展望所整備は、展望所の立入規制箇所における安全対策と注意喚起の徹底は。

② 日暮橋周辺の立木による眺望制約を踏まえ、高所型の展望施設整備の考えは。

③ 豪雨災害で被災した道路の復旧状況は。

④ ガンガラ穴の名称見直しを含めた観光PR強化の考えは。

**答 町長**  
① 当該地点は眺望に優れるが、急斜面や国有林により用地や駐車スペースの確保が困難であり、渋滞や事故の懸念から展望所整備は難しい。今後は交通安全に配慮しつつ、ガイドによる案内など現行の観光手法を活かしていく。

② 日本キャニオン展望所の安全対策として、ロープや張り紙の設置を強化し、ホー

ムページやSNSでも注意喚起を徹底する。

③ 日暮橋周辺は伐採による眺望確保ができず、展望台も樹木の成長や景観への影響から課題が多く設置は難しい。代わりに遊歩道から間近で日本キャニオンを体験できる魅力を活かした観光を推進する。

④ 十二湖エリアの町道は、令和4年災の5件は全て復旧済み、令和5年災の2件のうち1件は令和8年度に繰越となっている。県管理分は令和4年災の6件が全て復旧済みである。

⑤ ガンガラ穴は地元根付いた名称であり変更は難しい。



### 千畳敷周辺の環境整備 と景観整備は

#### 「空家対応継続と石 碑修繕実施方針」

**問 大高議員**  
千畳敷駅近くの老朽化家屋の解体に関するその後の進捗状況はどうなっているのか。また、千畳敷駅駐車場にある石碑の銘文が判読しづらい状況となっているが、見やすくするための対応について町の考えは。

**答 町長**  
千畳敷駅近くの老朽家屋は特定空家に認定し助言・指導を行ったが対応がなく、代執行には手続きが必要であるため、まずは関係者へ再度対応を求める方針である。千畳敷海岸の石碑については劣化が確認されており、早急に修繕対応する。

### 関係人口の創出 都市交流を通じた 関係人口の創出を

#### 「交流事業拡充し関 係人口創出推進」

**問 大高議員**  
関係人口創出のため都市部との継続的な交流の仕組みづくりが必要であると考え、町の考えは。

① 移住を前提としない都市部住民との継続的交流を実施する考えは。

② 町内複数地区を「交流モデル地区」として、町又は地区主体で都市住民との交流事業を展開する仕組みを構築する考えは。

**答 町長**  
① 「お試し住宅」や「保育園留学」を入口としつつ、移住に限らない関係人口の創出を重視する。地域活動参加や体験機会を通じて継続的な関係を築き、今後はワークショップや副業人材の活用など課題解決型の交流を進める。

② 地区単位の交流は有効であり、地区主体の受入れを支援する仕組みが必要である。将来的に意欲ある地区を「交流モデル地区」に選定し、「地域コーディネーター」配置や拠点整備を検討する。

### 地域共生社会の体制整備 に向けた体制整備は

#### 「現行体制の連携強 化で対応継続」

**問 大高議員**  
地域共生社会の実現に向け、複雑化・多様化する生活課題に対応するため、分野横断のワンストップ相談体制や支援

調整機能を備えた体制整備を今後どのように進めていくのか。

**答 町長**  
重層的支援体制は分野横断的な支援を目的とするが、町では既存の関係機関が連携して対応している。新たな体制整備には人材確保や民間団体の育成が必要で現時点では困難であり、今後は現行体制の連携強化によりきめ細かな支援を継続する。



### 地域医療体制の確立 を

#### 「医師確保重視し派 遣強化で対応」



**問 大高議員**  
地域医療を将来にわたり維持するため、深浦診療所に勤務する意思のある医学生への奨学金制度を創設してはどうか。また、看護師や医療技術職についても同様の制度を設ける考えは。

**答 町長**  
医療人材の確保が最重要であり、診療環境整備や県立中央病院との連携により医師派遣体制を強化している。奨学金制度は課題もあるため導入せず、既存の医師派遣事業の活用を進め、持続可能な地域医療体制の維持・充実を図る。

### 投票時間の見直し 投票時間を2時間 繰り上げては

#### 「投票時間の2時間 繰り上げを進める方 針」

**問 大高議員**  
町議会議員選挙について、期日前投票の利用状況や投票日17時以降の投票者数を踏まえ、投票終了時間を2時間繰り上げること検討すべきではないか。選挙管理委員会の考えは。

**答 選挙管理委員会委員長**  
期日前投票の利用が進み当日夕方以降の投票者が少ないことから、法の範囲内で投票所閉鎖時間を午後6時へ繰り上げる方向で準備を進める。





豪雪対策  
今冬の豪雪対応と今後の除排雪体制は  
『事業者との情報共有を図り、除排雪体制の再構築を進める』

問 八木議員  
豪雪対策本部設置後の対応で明らかとなった課題、災害救助法による雪下ろし支援の基準と実績、今後の除排雪体制の見直し・強化策は。

答 町長  
町道除雪では事業者の人手不足やオペレーター交替に伴い一部で対応が不十分となった課題があった。

災害救助法による住宅雪下ろし支援は相談54件のうち、町業者委託8件、職員対応15件で実施。今後は直営人員確保や優先箇所・作業範囲の見直し、機械整備などにより除排雪体制の強化を図る。

温泉施設整備

問 「ゆとり」代替施設の整備は

答 実現性調査踏まえ整備判断へ



やぎ 八木 議員  
ふもと 史

つぶやき  
入浴施設実現の調査費が予算計上され、よかった。



問 八木議員  
「ゆとり」代替施設の検討状況は、浜町商店街活性化に向けた整備方針の具体化と加速を。

答 町長  
入浴施設整備の実現性を調査し、その結果を踏まえて判断する方針である。



問 八木議員  
老朽化施設の維持方針と、サケ回帰率低下を踏まえた増殖事業の継続か他魚種転換かの判断が必要と思われるが、町長の考えは。

答 町長  
サケ捕獲数の激減により放流事業は厳しい状況にあるが、資源維持や関係機関との連携の観点から町単独での判断は困難であり、継続可否は慎重に協議する必要がある。そのうえで、将来的に継続が困難となった場合には他魚種への転換や施設の在り方の見直しも視野に入れ、黒潮大蛇行終息後の回帰状況を見極めながら適切な時期に判断する。



▲さけます増殖センター

空き家調査 ※しゅいかい  
空き家の悉皆調査の実施は

『実施について検討する』

問 八木議員  
空き家対策の実効性向上には現状把握が不可欠である。業者委託による悉皆調査を実施すべきでは。

答 町長  
過去に実態調査を実施し、危険空家の除却や利活用促進の施策を進めてきたが、最新の空き家状況が不明確であるため、今後は悉皆調査の実施について検討していく考えである。



※悉皆調査…調査対象となる母集団のすべて（1つ残らず）を調べる手法であり、「全数調査」とも呼ばれる。

問 八木議員  
町の課題解決に向け、町職員による組織的な運用体制を整備し予算・人材・体制を整備すべきでは。

『常設は困難であり、組織横断で機動的に対応する』

ドローン活用  
町職員によるドローン活用チームの設置は



答 町長  
町職員によるドローン活用の専門チームを常設することは、人的余裕や活用機会の限定、現行業務での横断的活用や専門業者委託の有用性などの理由により困難であると考えられる。そのため、現状では必要に応じて組織横断で機動的に対応し、各業務に活用していく考えである。

議会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に関する予算や条例の提案、議員の質問・質疑、採決などが行われます。  
今回は、9月上旬に定例会を開く予定ですので、皆さんの傍聴をお待ちしております。



# 深浦町議会 第144回臨時会

4月24日(金)に開かれた本臨時会では、人事関係議案2件、専決処分の報告及びその承認を求めるの件6件、以上8件を審議した結果、原案どおり同意・承認しました。また、臨時会の冒頭において、町長から、国の重点支援地方創生交付金を活用した「深浦町生活応援商品券」配布事業に関し、特に北金ヶ沢地区住民への配布が大幅に遅れたことについて、お詫びが述べられました。本件については、町民の皆様にご不便とご心配をおかけしたことは誠に遺憾であります。議会としても、事業の執行状況を注視するとともに、適切な進行管理と丁寧な情報提供がなされるよう求めてまいります。



## 人事案件

### さとう ひろあき 教育長に佐藤 紘昭氏を任命



任期満了に伴い、教育長に任命することに対して、議会の同意を求めたものです。  
【賛成多数で同意】  
任期は令和8年5月14日から4年間です。

### やすた しんぎょう 教育委員に安田 信楽氏を選任



任期満了に伴い、教育委員に選任（再任）することに対して、議会の同意を求めたものです。【全員賛成で同意】  
任期は令和8年5月13日から4年間です。

## 第143回定例会 上程議案と採決状況一覧

上程議案・概要・結果	結果	八木史	七戸仁	福沢秀己	大川清光	岩谷司	岩根環	大高恒藏	藤田一則	工藤博利	今勝吉	齊藤登
<b>上程議案・概要・結果</b> ○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長(齊藤登)は採決に加わらない。												
<b>令和8年度 当初予算議案 ※概要については、P2</b>												
議案第1号 一般会計予算	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	-
議案第2号 国民健康保険事業特別会計予算【事業勘定・直診勘定】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号 後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号 介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号 訪問看護ステーション特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号 財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第7号 水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第8号 下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>令和7年度 補正予算議案</b>												
議案第9号 一般会計補正予算(8回目)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号 国民健康保険事業特別会計補正予算(4回目)【事業勘定・直診勘定】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第11号 後期高齢者医療特別会計補正予算(3回目)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第12号 介護保険特別会計補正予算(3回目)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号 水道事業会計補正予算(3回目)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第14号 下水道事業特別会計補正予算(3回目)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>条例に関する議案</b>												
議案第15号 深浦町職員の特殊勤務手当に関する条例 有害鳥獣駆除業務に対する手当を規定するための改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第16号 深浦町課設置条例の一部を改正する条例 児童福祉法に規定される「こども家庭センター」設置に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第17号 深浦町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 子ども・子育て支援法の規定に基づき設備、人員配置運営方法等について一定の基準を設けるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号 深浦町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 つがる西北五広域連合へごみの収集運搬または処分を業とする者に係る許可事務を移管することに伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第19号 深浦町白神十二湖エコ・ミュージアム設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 深浦白神十二湖エコ・ミュージアムの管理方法に変更が生じたことから所要の整備を図るための改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号 深浦町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例 道路法施行令の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号 深浦町消防団条例の一部を改正する条例 消防団員の定員数及び定年年齢を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>その他の議案</b>												
議案第22号 深浦町過疎地域持続的発展計画変更の件 深浦町過疎地域持続的発展計画を変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号 工事の請負契約の一部変更の件 請負代金「133,100,000円」を「134,222,000円」変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号から第26号 深浦町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号 工事の請負契約の一部変更の件 請負代金「100,320,000円」を「107,470,000円」変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>諮問</b>												
諮問第1号、2号 人権擁護委員の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
<b>報告</b>												
報告第1号 専決処分した事項の報告(令和7年度一般会計補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

題字を  
書いて  
くれた人

ふかうら

上手に書けました。  
将来の夢はデザイナーです。  
レッツ！ふかうらに行くのが  
楽しみです。



いわさき小学校2年生 くまがい 熊谷 ちな 千奈さん  
(岩崎書道教室)

## 表紙写真紹介

今号の表紙は、大館でトマト栽培に取り組む木村寿志さん（ひさし 追良瀬）です。祖父母が営んできた農業を継ぐため就農し、現在は家族3人で農業経営に励んでいます。以前は町内の企業などで勤務しており、現在も冬季間はアルバイトを続けながら農業に携わっています。

近年は猛暑の影響により、従来の栽培方法では対応が難しくなっているほか、クマやサルによる被害も増加しており、農業経営の厳しさを実感しているそうです。また、「想像していたよりも収入面は厳しい」と率直な思いも語ってくれました。

一方で、収穫の喜びや、購入した方から直接感想を聞けることに大きなやりがいを感じているとのこと。今後については、「将来的には一人でも効率的に作業できる環境を整えたい」と話しており、省力化や効率化を見据えた農業経営を目指しています。



## 議会広報編集委員会

委員長 今 勝吉  
副委員長 七戸 仁  
委員 大高恒藏  
岩谷 司  
大川清光  
福沢秀己  
発行責任者 斉藤 登  
(議長)

## 編集後記

十二湖の春は日々新緑を増している。  
晴れの日にはキラキラと日光を揺らす緑葉。雨の日にはもやの後、更に濃い緑葉。

十二湖の33の湖沼群はどれも個性的である。特に青池は雲の動きで青さを変え、神秘的ブルーが観光客を魅了する。沸壺の池は巨大な桂の根本から、湧水が流れ込み池の半分は透明、もう半分は青池のようなブルー。これもまた神秘である。そして崩山直下の金山の池と糸畑の池はまさに一枚の絵である。

工事が進む王池の展望デッキは、人気の撮影ポイントになった。今年は外国人観光客の為に標識も整備される。毎年、十二湖を楽しんでいただく環境が整っていく。世界、そして日本の皆様の更なる来町が期待される。  
(七戸 仁)

